

整理番号	事業名
111	ロケーション誘致・支援推進費

所管部局
観光部コンベンション推進課

※()の数字は、委員数

所管部局の評価			外部評価	
評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価の妥当性	「妥当でない」と評価した理由
必要性	事業の市民ニーズ	高まっている	妥当(3) 妥当でない(1)	○市民がどう望んでいるのかについての検証がなされていない。これは、フィルムコミッションの活動そのものに言及すべき問題であるため、現時点では評価対象外とすべきであるとする。
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当	妥当(4) 妥当でない(0)	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	妥当(0) 妥当でない(4)	○成果指標がないのに何を持って達成したと考えるのか。はっきりとした成果指標を作るべきである。他都市の事例ではパブリシティ効果(宣伝効果)を視覚化しているところもあるので参考にすべき。○成果指標の数値等による「見える化」が必要
	事業目的実現のための手段	現手段も有効だが他の手段も考えられる	妥当(2) 妥当でない(2)	
コスト・負担	コストの節減度	節減できている	妥当(4) 妥当でない(0)	○成果指標を「見える化」して将来的には予算を増やしていけるようにしてほしい。 ○予算を増額し、人材育成や発掘を進めるなど、市民参加型の事業化を行ってほしい。
	将来コスト増減見込み	現在と変わらない	妥当(1) 妥当でない(3)	
	受益者負担の適正度	評価対象外		
執行方法	外部委託の可能性	しづらい性質の事業	妥当(3) 妥当でない(1)	○フィルムコミッションに専門家をおき、担当職員と協働すべきと考える。製作者側と同じ言語を話せる人がいなければ事業成果には繋がらない。
	実施方法の効率性	図られている(今後も更に改善可能)	妥当(3) 妥当でない(1)	

所管部局による今後の改善策	
基本方針	現行どおり



今後の改善策について	意見・提言
①現行どおり (0) ②改善(3) ③当面現状維持(1) ④廃止(0)	○函館にとって必要な事業。今後、予算を増やすことに市民の理解が得られるような成果報告があると望ましい。 ○成果の「見える化」を通じて予算額の増につなげるべき。そうすることで市民がより観光への興味を持てるようになればよい。 ○フィルムコミッション規約を大幅に見直し、民間企業や個人も巻き込み、函館市民が一丸となって誘致・支援する団体にしてはどうか。 ○成果指標を作り、フィルムコミッション自体を見直すことが必要であり、現行どおりの継続ではなく、見直し・改善をしていく前提での当面現状維持とすべき。コンベンションの誘致政策と違って、映画振興は本来文化政策である。期待する最終的な効果は同じでも、「観光・地域振興」と「映画・映像制作支援」のどちらかを前面に押し出すかで成否が分かれる。外部の製作者から刺激を得て、国際的に活動できる人材が養成されていくといった効果が期待できる事業としてほしい。
外部評価委員会としての提言	
改善	

